



## 文献検索のレクチャー (医中誌 Web の効果的利用法)

松田 真美

### I. はじめに

冊子体から CD-ROM、そして WEB へという流れの中で、いわゆる「エンドユーザーサーチ」がごく普通に行われるようになりました。しかし、図書館司書の方から、しばしば「エンドユーザーは何件か適当と思われる文献が見つかる」と満足してしまう」という声を聞きます。

この状況を改善するには、検索インターフェースをはじめとする医中誌 Web サービス自体のステップアップが必要なのは当然ですが、それとともに、図書館員による適切なサポート、教育が有効であることも論を待たないと思います。この稿では、「エンドユーザーにとって何がわかりにくいのか?」という視点に立って、「医中誌 Web の効果的利用法」をエンドユーザーにレクチャーするときのポイントを考えてみたいと思います。「エンドユーザーにとってわかりにくい事柄」とは何か、につき認識を新たにするため、この三年間に「医中誌 Web」「医中誌パーソナル Web」ユーザーから当会宛に寄せられた約4,000件のメールを再読しました。いくつかの項目については、メールの具体例を挙げます。

### II. 「医中誌 Web」レクチャーのポイント

#### 1. そもそも「医学中央雑誌」「医中誌 Web」とは?

(メールの例)『検索したい語を入力し、ヒットした文献はコンピュータ上で読めるのでしょ

うか?それとも図書館で文献を探して読むことになるのでしょうか?』

このような問合わせが意外に多いのです。エンドユーザーならでは、そしてインターネット時代ならではの疑問だと思えます。まずは医中誌で閲覧できる情報は書誌事項と抄録までであり、その後の原本入手については各館の手続きによる、というところを確認する必要があります。

#### 2. 医中誌データベースの内容のポイント

医中誌データベースに関する概要については、Web 上で閲覧できる情報源を表1に挙げましたのでご参照ください。また、よくご質問をいただく「収録文献数」「文献の採択基準と論文種類」について表2、3にまとめました。そのほか、質問が多い、わかりにくいと思われる事柄について述べます。

##### (1) 「データ作成年」と「収録誌発行年」

医中誌データベースには、2種類の「年」の情報があります。1つは「データ作成年」で、その文献データが医中誌データベースに収録された年を、もう1つは「収録誌発行年」で、その文献が掲載されている雑誌の発行年を指します。医中誌 Webで「検索対象年」という場合は、前者の「データ作成年」を指すので、注意が必要です。

##### (2) データの誤りとデータメンテナンスについて

書誌事項等の誤りが判明した場合は、ただちに医中誌基本データベースを修正します。しかし、それが「医中誌 Web」に反映されるのは、最新年(今なら2003年)については毎月のデータ更新時、それ以前については全データのメンテ

表 1. WEB 上で閲覧可能な「医中誌 Web」情報

★医中誌ホームページ	http://www.jamas.or.jp/
★医中誌 Web HELP (※医中誌 Web にログインしなくてもアクセス可能)	http://www.jamas.gr.jp/web_help2/
★医中誌 Web 検索マニュアル (PDF 版)	http://www.jamas.gr.jp/pdf/web_manual.pdf

表 3. 文献の採択基準と論文種類

★文献の採択基準

新知見あるいは学問的価値、実用性のある文献であること。

★論文種類と内訳

論文種類	定 義	内 訳
原 著	医学・薬学・歯学に関わる研究、開発、調査で独創性、新規性のある文献で、著者（個人または団体）名・所属機関名が必ず記載されており、目的、対象、方法、結果、考察、結論で構成されており、図、表、写真、参考文献を含み、要旨、要約があるもの。講演または会議録でも、原著の内容、形式を有するもの。論文の簡略化された形式をとった記事（速報・短報）	約 2 割
総 説	特定の分野、主題について関連文献、資料に基づいて総説、論評したもの。	1%以下
会議録	(要旨・抄録など) 学会、研究会および各種機関・団体で発表される抄録や要旨	約 6 割
図 説	写真、図、データに何らかの説明が付されている記事。	1%以下
講 義	学会等の講義。文体が口語体であるものが多い。	1%以下
解 説	特定の分野、主題について解説したもの。	約 2 割
一 般	上記のいずれにも該当しないが内容に価値のある記事。	1%以下

表 2. 医中誌収録文献数  
(※2003年 4 月現在、医中誌 Web で検索可能な文献数は約480万件。)

1983年	121,844
1984年	190,982
1985年	199,983
1986年	198,824
1987年	203,454
1988年	203,011
1989年	221,708
1990年	217,012
1991年	223,588
1992年	251,289
1993年	251,565
1994年	241,976
1995年	251,049
1996年	250,127
1997年	251,925
1998年	260,342
1999年	272,269
2000年	280,058
2001年	281,582
2002年	282,784
2003年 4 月分まで	113,500
総 計	4,768,872

ナンス時となります。今後は半年に一度のペースで全データのメンテナンスを行う予定です。

3. 検索の際おさえるべきポイント

エンドユーザーへのレクチャーにおいて「ポイント」と考える事項を挙げます。検索方法全般については医中誌 Web HELP 等 (表 1) をご参照ください。

(1) 検索モードの選択

「BASIC MODE」「ADVANCED MODE」のどちらを薦めるべきでしょうか？とつつきやすさ、という面からはやはり「BASIC MODE」ですが、いったん慣れれば、検索の試行錯誤が履歴として残る「ADVANCED MODE」の方がかえってわかりやすいのでは？とも思えま

す。結論が出ていないのですが、「検索そのものにある程度の興味を持っていそう」なユーザーには「ADVANCED MODE」を薦めてみる、というのはどうでしょうか。

(2) キーワード検索のポイント

医中誌 Webでは、特に検索対象フィールドを指定しない場合は、自動的に「入力した文字列によるデータ全体に対するテキストサーチ」と同時に「入力した文字列と同義とみなされる統制語による検索」が行われます。しかし、この機能は、あくまで入力された文字列が「同義語辞書」に登録されていた場合のみ有効です。それを考えると、各データには索引者により統制語が付与されており、それを利用すればより

的確な検索が期待できること、をやはりレクチャーしていただければと思います。この知識が「ヒットした文献に付与されている統制語で再度検索する」という最も堅実な検索手法に繋がるからです。その他、押さえておいていただきたいポイントは下記の通りです。

- 複数のキーワードをスペースで区切って入力すると、それらのキーワードの「AND 検索」が実行されるが、非常に一般的な用語（「腫瘍」「障害」など）でない限り、3個までとする。
- 「実際に論文中に存在しそうなキーワード」を入力する。
- 複数の概念を包含する長いキーワードの入力は避ける。その場合は、キーワードを分けて入力する。（検索例～図1）
- 副標目による絞り込み検索を行う。特に「薬物療法」「外科的療法」「放射線療法」等の治療に関する副標目、あるいは「看護」「リハビリテーション」「予防」「予後」「病因」等。なお、アルファベットの大きい文字／小さい文字が別の文字として認識される、という仕様は現時点で

検索の容易さを大いに損なっているのですが、これは近いうち改善する予定です。

(3) 著者名、所属機関名、収載誌名の検索－「統制」について

（メールの例）『確かにあるはずなのですが、「マツモトサトコ」で検索できません。』

この場合の著者名は「松本聡子」だったのですが、医中誌では「聡子」のヨミを「トシコ」と統制しているためにヒットしません。著者名は、一般的には漢字で検索するほうが良いと言えます。

著者名ヨミのほか、所属機関名と収載誌名も、医中誌が定めた1つの表記に統制されています。したがって、「部分文字列での検索」（例えば、法人名等は極力省く）と、「候補語検索」の利用をお勧めします。

(4) EBM 文献の検索について

2003年分データより、「研究デザイン」のタグ「メタアナリシス」「ランダム化比較試験」「比較臨床試験」「比較研究」が索引されるようになりました。医中誌 Web でも近々このタグを利用した検索が可能となる予定です（図

	No.	検索式	件数
<input type="checkbox"/>	#1	B型慢性肝炎急性増悪/AL limit: (98-03)	10
<input type="checkbox"/>	#2	(肝炎-B型-慢性/TH or B型慢性肝炎/AL) limit: (98-03)	649
<input type="checkbox"/>	#3	急性増悪/AL limit: (98-03)	992
<input checked="" type="checkbox"/>	#4	#2 and #3 limit: (98-03)	28

図1. 複数概念を含むキーワードの検索

(※1つのキーワードとして入力するより、#～#4のように分けて検索したほうが良い例)

**● 検索対象の限定**

■ 論文の属性     抄録あり    摘要    症例報告    症例報告除く

■ 論文種類       原稿    解説    会議録除く

■ 検索対象データ   

■ 収載誌発行年     年 ~  年

■ 分類             看護    歯学    獣医学

■ 研究デザイン     メタアナリシス    ランダム化比較試験    比較臨床試験    比較研究

※ 研究デザインの絞り込みについて

図2. 研究デザインによる検索（予定）

2)。

(5) その他のポイント

- 検索結果をダウンロードする場合、出力内容のフォーマットを細かく指定することができる。特に「CSV 形式」を指定すると、表計算ソフトやデータベースへの取り込みが容易に行える。
- 医中誌 Web を検索するには、Cookie の設定が「無効」になっていると、検索が行えない。
- ヒットしたすべての文献を詳細表示、あるいはダウンロードしたい場合は、文献を1件もチェックせずに「詳細」「ダウンロード」を実行する（すべての文献をチェックする必要はない）。

(6) 「医中誌 Web DDS」

2002年9月にサービスを開始した「医中誌 Web DDS」について簡単にご紹介します。このサービスを利用するには、(株)サンメディアへのユーザー登録が必要です。登録後は、医中誌 Web の文献番号を「医中誌 Web DDS」のページ (図3) に貼り付けるだけで簡単に文献をオーダーすることができます。このサービスの詳細については、下記のページをご参照ください。

<https://order.jamas.gr.jp>

Ⅲ. おわりに

エンドユーザー検索については、「そもそも多忙な医療従事者に自ら文献検索を行え、ということ自体に無理がある。代行検索、あるいはより吟味された文献情報へのアクセスを保證すべき」との意見もあり、うなずかざるをえない部分も確かにあると思います。しかし、現実の「医中誌 Web」を検索するエンドユーザーに対しては、最大限のサポートを行うのが私どもの務めと考えております。この稿が皆様のサポート業務の一助となることを願っています。

最後になりましたが、レクチャーの際は、ぜひ「不明の点は、info@jamas.or.jp へ問い合わせる」旨、ご付言下さい。当会のサポートスタッフが迅速にお答えすることをお約束します。

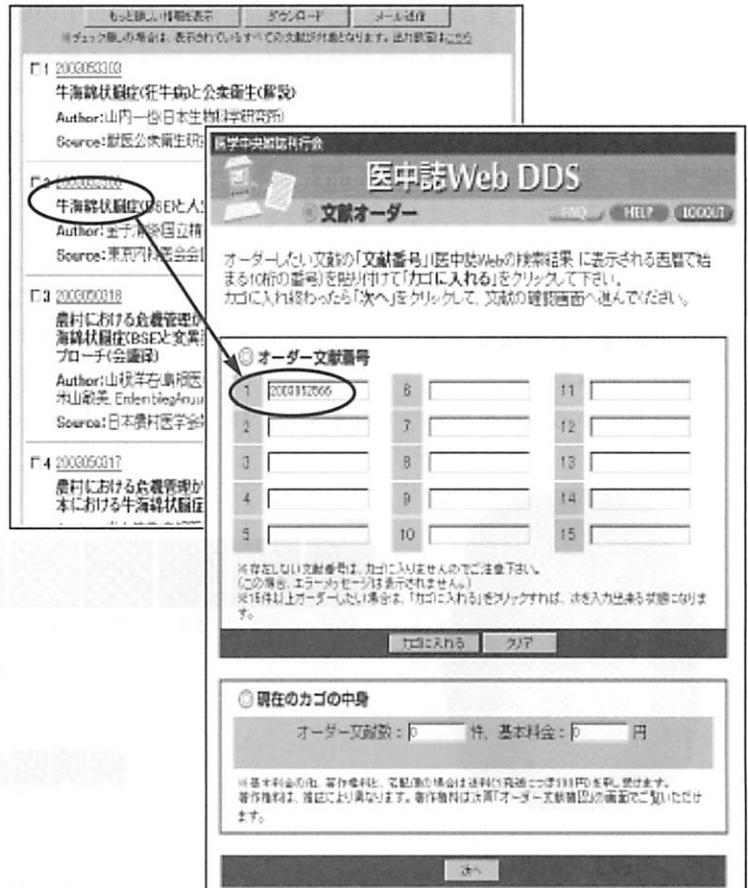


図3. 「医中誌 Web DDS」オーダー画面